大阪府立布施高等学校

Contents

- 学校紹介
- 特徴的な取組み
- 部活動・行事
- 卒業生の進路状況
- 入学者選抜

学校紹介



- **創立**

  1942（昭和17）年　78年目

- **クラス・生徒数** ※令和２年５月１日現在

  １～３年生　各　８クラス

  計２４クラス

  956名（男子450・女子506）

標準服

式典・試験および特定の行事の際には必ず着用





◆校内点描１





自転車置き場



下足ロッカー

◆校内点描２





短焦点プロジェクター
全普通教室に配備



◆校内点描３



物理教室にて



中



庭



渡り廊下（本館～北館）

◆校内点描４





文化会館（同窓会）

自習室



校内点描５





食堂（ラーニング・コモンズ=自習室）

校内点描６



北グランド



体育館





プール



南グランド

◆校訓



第2代校長
近藤謙次先生　書

『**教学相長**（きょうがく そうちょう）』（『礼記』學記）

学ぶことで、自分に不足するものを知り、
教えることで、自分の知識の未熟さが分かる。
「教え」と「学び」はともに刺激し合い、
ともに自己の成長につながるものである。

◆育てたい生徒の資質

①流動化する社会の中でも「世の為、人の為」という原点になる志をもち、己を鍛える生徒

②幅広い教養（リベラル・アーツ）を身につけ、知性を磨き、新たな価値を創造する生徒

③己を知り、社会を知り、世界を知り、人生を描くことが出来る生徒

④人と繋がり、地域・社会と繋がり、世界と繋がる、心身ともに健全で規律ある生徒

◆ 学校教育自己診断の結果より

（令和元年11月）

①（生　徒）「学校へ行くのが楽しい」８５．８％

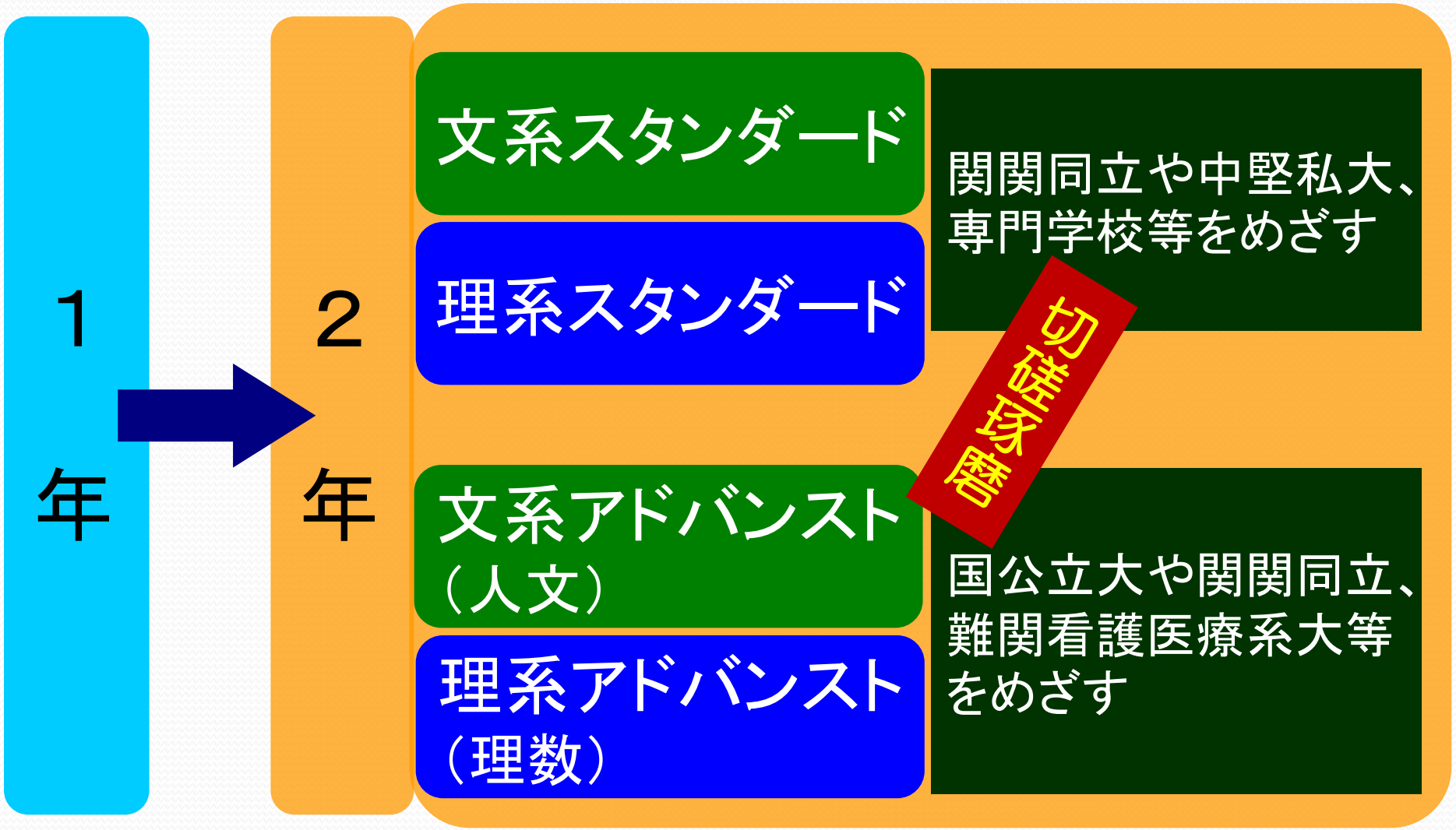
②（保護者）「布施高校に入学して人間的に成長したと思う」８１．８％

③（生　徒）「学校行事に生徒が主体的に取り組めるように工夫されている」８３．７％

④（保護者）「本校は社会に役立つ有意義な人材を育成しようとしている」７２．１％

特徴的な取組み

２年生からのコース制


1
年
2
年
文系スタンダード
理系スタンダード
文系アドバンスト
（人文）
理系アドバンスト
（理数）
関関同立や中堅私大、
専門学校等をめざす
国公立大や関関同立、
難関看護医療系大等
をめざす
切磋琢磨

アドバンストコースの決定方法

１年→２年

アドバンストコース希望者が定員
（７５期生は８０名）を超える場合

１・２学期の学校の成績
＋
全国模試の成績
を基に決定

アドバンストコースの決定方法

２年→３年

３年でも引き続き
アドバストコースを希望する
上位３／４の生徒

１・２学期の学校の成績
を基に決定

下位１／４の生徒

＋

３年でアドバンストコースを
希望するスタンダードの生徒
（コース内上位80%）

全国模試の成績
を基に決定

◆週３２時間（50分）授業

(火･水曜日は7時間)

●始業時刻　８：２５

●終業時刻　（月・木・金）３：００

（火・水）　３：５５

●下校時刻　５：００

（完全下校　６：００）

※定時制課程が併置

◆少人数展開授業

●１年生　英語表現(Writing)

●２年生（文系スタンダード）古典１

１クラス２展開

⇒より丁寧な対応

◆朝の小テスト

●月・木・金曜日　８：２５～

◆スタディサプリの導入

●74期生から全員が活用

◆進学講習

- ●教科担当者による講習（早朝・放課後）
- ●河合塾と連携し、センター対策講座を実施（土曜日：有料、国・数・英）

◆自習室の開放

- ●文化会館２Ｆ（個別ブース）
  （平　日）１８：００まで
  （土曜日）８：３０～１６：００
- ●ラーニングコモンズ（食堂）協働学習
- ●図書室

◆英語４技能習得に向けた対策

☆大学入学共通テスト（2021年開始）

「読む」と「聞く」の配点

⇒　４：１から１：１へ

Reading（読む）

- 多くの語彙や表現を覚える
- 長文読解力をつける

→小テスト、定期テスト、模試

Listening（聞く）

- つながる音を聞き取れる
- 話の流れを推測できる

→定期テスト、模試





Speaking（話す）

- 自然に英語らしく読む
- 「型」を覚えて自分の意見を伝える
- ネイティブとのティームティーチング
  →スピーキングテスト（音読＋Q&Aテスト）

Writing（書く）

- 日常生活で使う基本表現を正しくつづる。
- 「型」を覚え論理的に表現する。
- 1年時：少人数（20人）授業

★英検・ＧＴＥＣの全員受験

◆思考力・判断力・表現力の養成

- 「総合的な探究の時間」

　現実社会と連動しながら「生きる力」を育む学習。

　様々なテーマに関して、正解のない問いにチームで挑み、自ら感じ、考え、表現していく中で、『探究』という学び方を実践する。

令和２年度
「総合的な探究の時間」
各学年の取組み（例）

（１年）職業について考える、人権学習、
プレゼンテーション力とコミュニケーション力の育成、ビブリオバトル

（２年）進路探究（学部・学科調べ）、模擬選挙
CASプログラム（働くことについて考える）、人権学習（ＳＤＧＳ）
★修学旅行とリンクさせる

（３年）進路探究、働くことについて考える、
人権学習

修学旅行のコンセプト

英語を使って世界を視野に志を学ぶ！



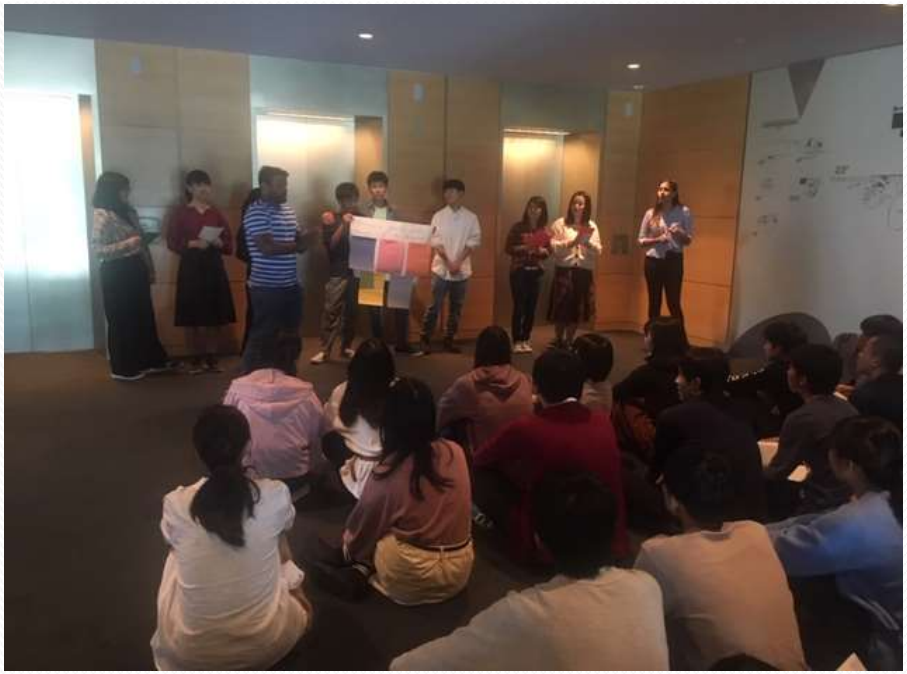


ＡＰＵ　立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）

約2人に1人が

86ヵ国・地域からの

国際学生





グローバル・ヴィレッジ・プログラム

◆国際交流

●海外語学研修旅行（希望者）※隔年実施

- 令和元年7月28日（日）～8月8日（木）
- オーストラリア　パース（２班）２５名参加
- ホームステイ／英語レッスン
  現地校での授業への参加／観光

※次回は令和３年夏に実施予定

★令和２年度の取組みについては検討中
ex. タイの高校との交流

●海外からの学校訪問の受け入れ（昨年）

- 2019年４月１８日（木）
  アメリカからAmundsen高校と
  Whitney Young高校　計22名







- 2019年６月２５日（火）
  インドからMayo Collegeと
  British Co-Ed School　計22名

地域連携

●司馬遼太郎記念館との連携

- 司馬遼太郎の命日である2月12日を「菜の花忌」と命名し、これを記念して毎年、八戸ノ里・小阪エリアに菜の花のプランターを設置。
- 本校でも各クラスから「菜の花委員」を選出し活動をしています。



部活動・行事







運動部

ラグビー・サッカー・硬式野球
バスケットボール・水泳
バレーボール・陸上競技
硬式テニス・女子ソフトボール
ダンス・バドミントン・柔道
剣道・卓球・男子ダンス同好会

◆文化部

吹奏楽・美術・茶道・軽音楽
写真・放送・漫画研究・演劇
書道・ボランティア同好会
アコースティックギター同好会
数学研究同好会・文芸同好会

- 入部率は約８０％
- 18時完全下校 ⇒ 短期集中

主な年間行事

※令和元年度の実績

（4月）入学式・始業式
　　新入生歓迎会（クラブ紹介）
（5月）遠足・中間考査
（6月）体育祭
（7月）期末考査・終業式
　　海外語学研修（隔年）
（8月）耐久勉強会・始業式
（9月）創造祭（1.5日開催）

（10月）中間考査・2年修学旅行
（11月）１・２年球技大会
（12月）期末考査・終業式
（ １ 月）始業式・生徒総会
（ ２ 月）学年末考査・卒業式
（ ３ 月）入学者選抜・合格発表
　　終業式





◆体育祭　１～３年が縦割りで団を結成



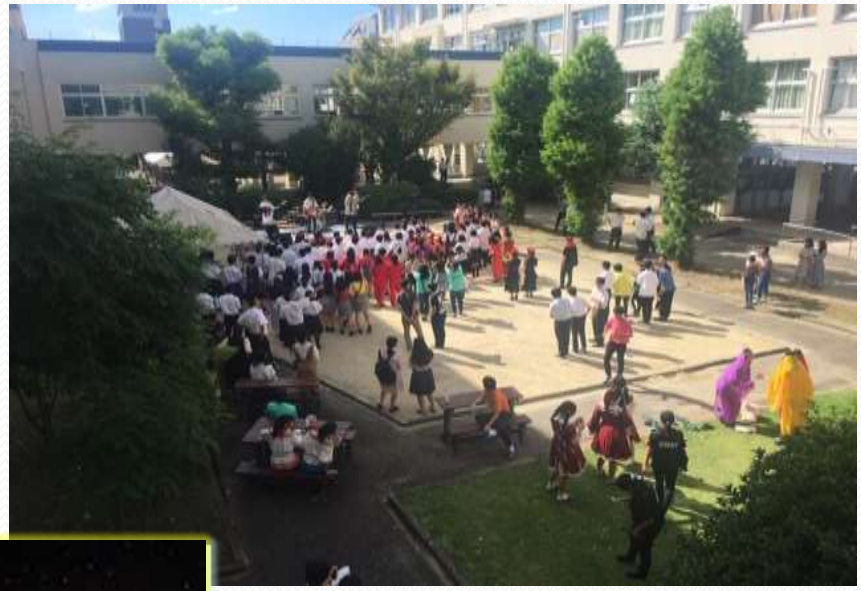






創造祭　各クラス・文化系クラブ











74期生(現３年生） 修学旅行

（2019.10.8~11）





２日目（別府 地獄めぐり）



１・２泊目　城島高原ホテル



３日目　クラス別ツアー
（高千穂峡）



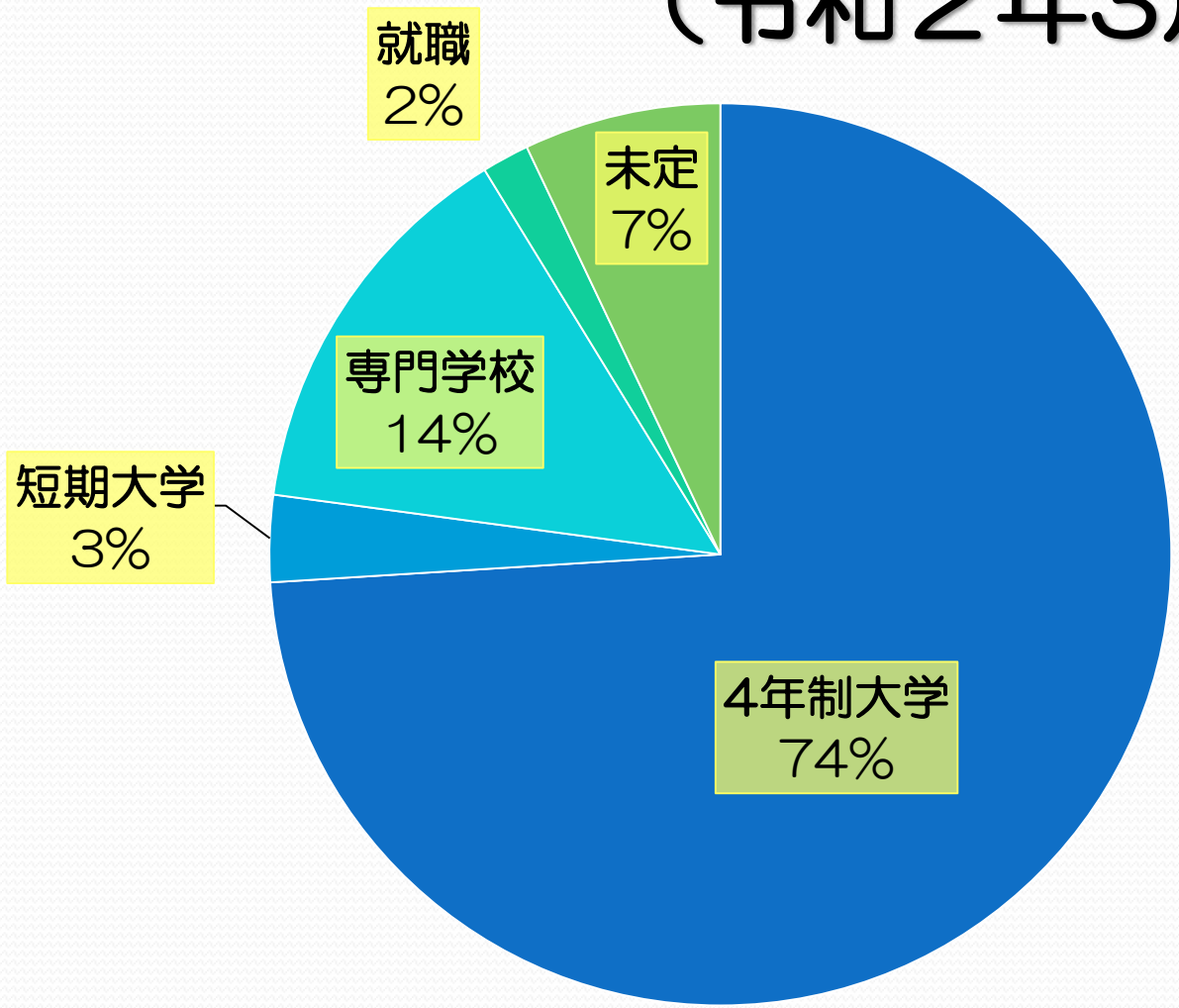
４日目　熊本市内自主研修



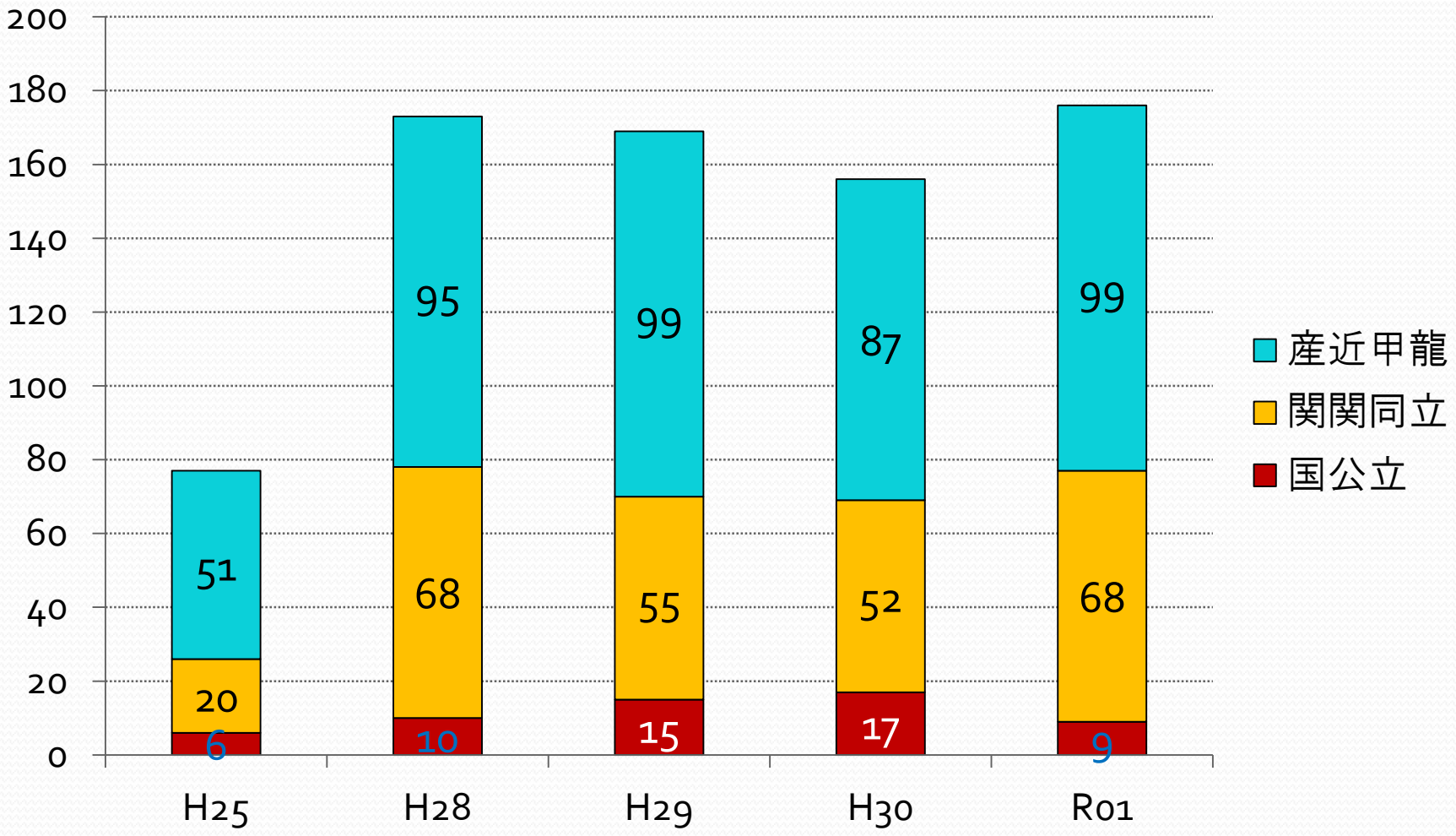
卒業生の進路状況



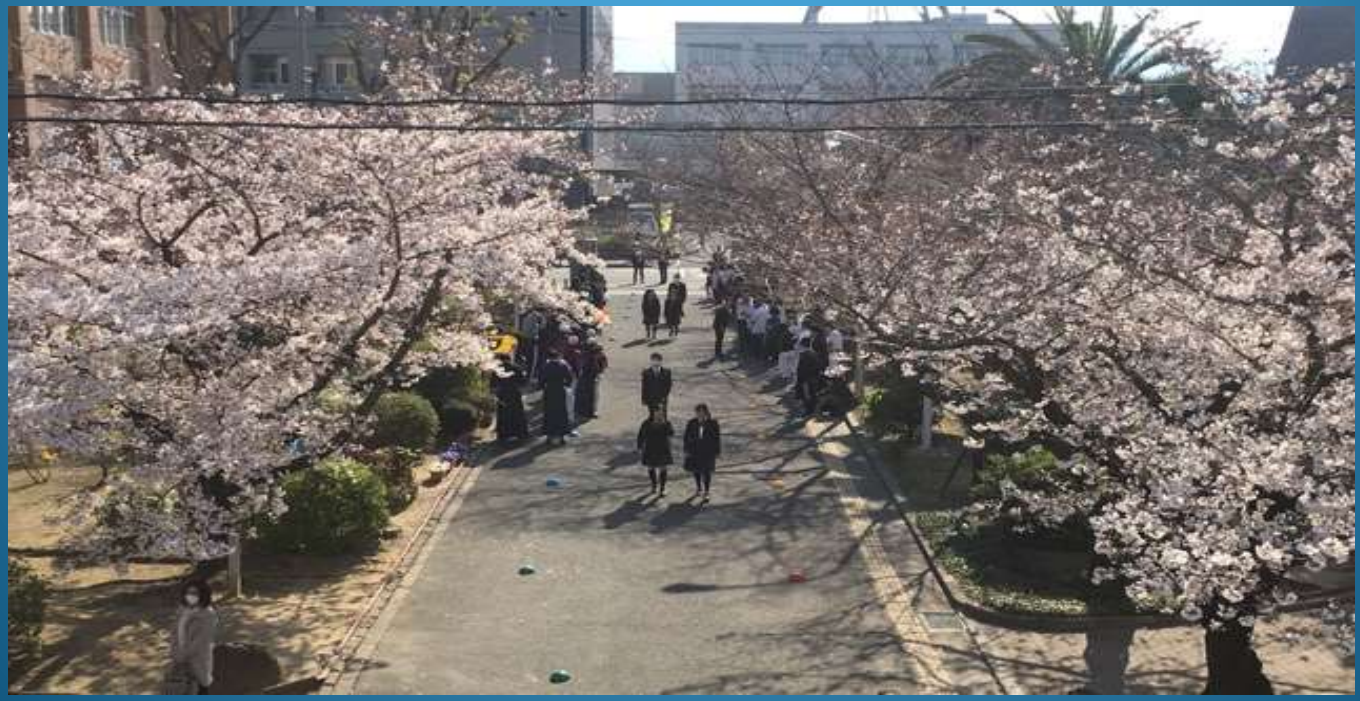
進路状況－７３期生
（令和２年3月卒業）



国公立・関関同立・産近甲龍
現役合格 実人数の推移



入学者選抜



- 学力検査の問題

  国・数・英ともB問題（標準的問題）

- 「学力検査の成績」及び「調査書の評定」にかける倍率のタイプ

  Ⅰタイプ（学検：調査書＝７：３）

◆アドミッションポリシー

①来たれ！志を持つ生徒

- グローバルかつローカルな視点を携え「世の為、人の為」に個を磨き、自己成長を習慣化できる生徒

②来たれ！知性を磨く生徒

- 幅広い教養（リベラル・アーツ）を身につけ、思考力・判断力・表現力・行動力を備えた生徒

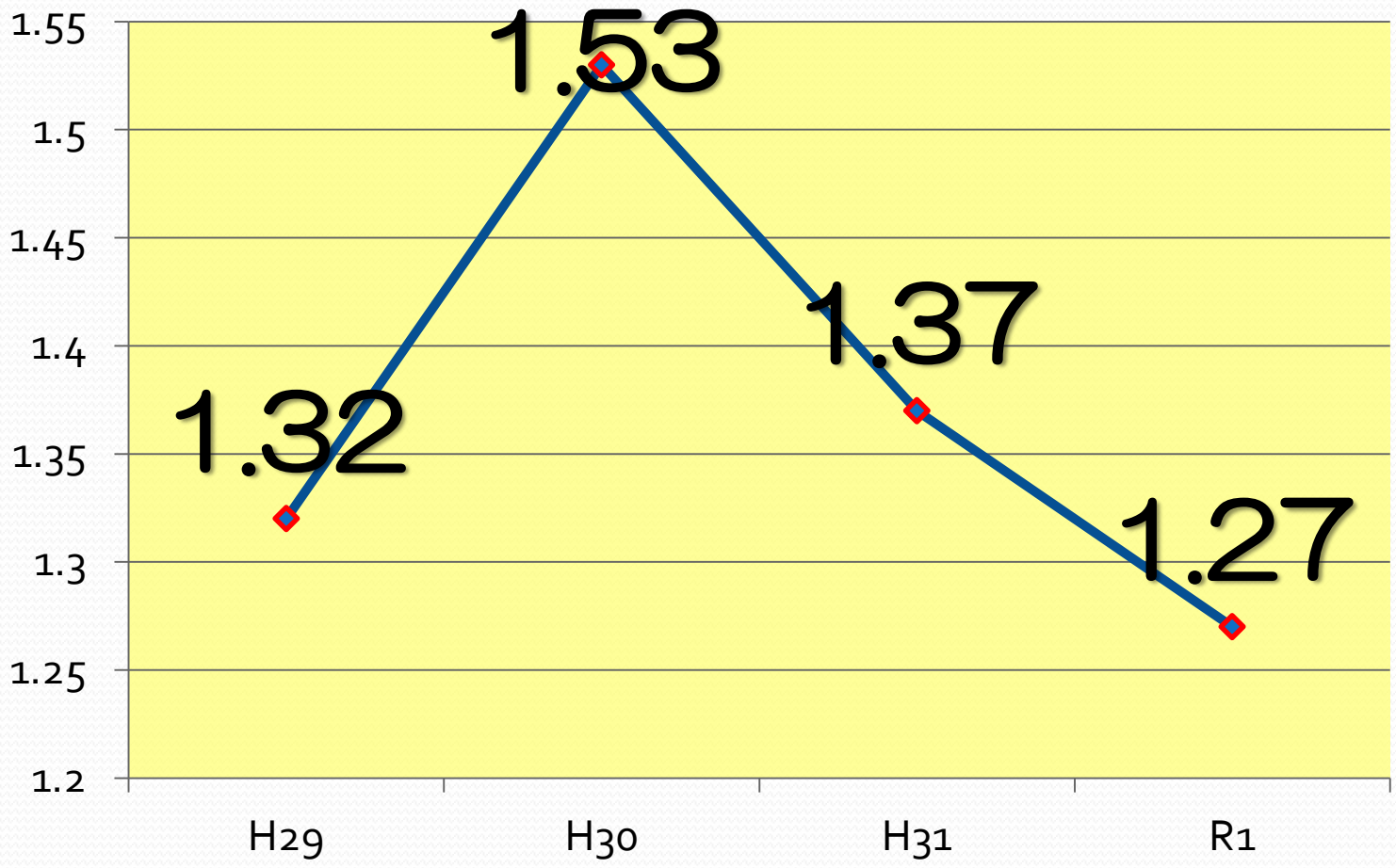
③来たれ！人生を描く生徒

- 己を知り、社会を知り、世界を知り、夢の実現に向けて、国公立大学・難関私立大学に果敢にチャレンジする生徒

④来たれ！人・社会・世界と繋がる生徒

- 社会と繋がり、世界と繋がる、心身ともに健全で規律ある生徒

近年の競争倍率



校長として先生方にお願いしていること

0．最も大切なのは「命」
～安心で安全な教育環境～

1．信じることを止めない
～生徒の可能性、保護者、同僚～

2．不易と流行
～伝統は変えず、時代を見据えて～

3．「社会」を意識した教育活動


ご視聴ありがとう
ございました